

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和八年五月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園の今昔物語⑮】

琴弾公園開園125周年記念展示会の内容をお伝えしていますが前回でコーナー毎の説明は終わり、今回からその他の展示物について概略をお伝えしていきます。まずは琴弾公園に関連する年表について説明させていただきます。

年表の上段には神恵院の歴代住職が書かれています。その中でも伝説が残っている人物やできごとについて取り上げていきたいと思えます。



山口の井戸付近

《琴弾公園関連年表 1》

〔祖・日證上人〕703年(奈良時代)

琴弾山中腹に開山し琴弾八幡宮の別当、神宮寺として創立した。八幡神と問答したと伝わる問答石が遺されている。

〔七世・弘法大師〕807年(平安時代)

弘法大師が本尊聖観音菩薩像を刻み、琴弾八幡宮の別当観音寺と改めた。琴弾山の麓には弘法大師空海が掘ったとされる山口の井戸がある。

〔十一世・日儀(にちぎ)〕881年(平安時代)

日儀と菅原道真は学友で、菅原道真が讃岐国守として赴任した時に訪ねてきた。数年後、菅原道真が九州大宰府に左遷され、その後亡くなると、その死を悼み、追善供養を行った。

【琴弾公園クイズ85】

琴弾公園内にある「宮本秋四郎」の銅像が手に持っている物は何？

- ① 扇子
- ② 書類
- ③ 靴



◆◆公園清掃日について◆◆

今月の清掃日は5月4日です。
午前八時～九時(雨天:5月11日)

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-11962

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



「機嫌のいいことはマナーである」という言葉がよく聞かれます。斉藤孝氏の著書「上機嫌の作法」にも「不機嫌で良いのは天才と赤ん坊だけ」という文章があり、さかのぼれば「人間の最大の罪は不機嫌である」というゲーテの言葉にたどり着き、不機嫌な顔や動作は昔から嫌われていたのね、とわかります。不機嫌な人が一人いるとその場の空気を変え整えるためには、上機嫌な人が三人以上いなければいけない、と科学的に証明されているそう、あらあら大変！私、三人分くらいご機嫌よくしなくちゃ、と見当はずれな思いで過ごしています。でも、歳を取ると顔の表情が乏しくなり、ほっといても不機嫌に見えるそうなのでご用心です！

(M)

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと呼びかけています。